

次号予告

特集＝精神科作業療法における作業分析

作業分析の一般的序論について.....	府中リハ学院	鈴木 明子
作業分析（各論）.....	高知清生園	松本 妙子
作業分析（各論）.....	三重高茶屋病院	大橋 博
座談会／作業療法と作業分析.....	日下部病院	松井 紀和・他

とびら

限界の拡張.....	三愛会伊藤病院	奈良 勲
------------	---------	------

講座

筋神経の生理学（9）.....	九州リハ大	和才 嘉昭
フィンガー・ペインティング（1）.....	九大心療内科	内村 静子

症例の検討と反省

分裂症をもった脊損患者の失敗例.....	済生会神奈川病院	深沢 弘
----------------------	----------	------

研究と報告

当院における作業療法の現況と原価計算について.....	大阪府立中宮病院	時武治 雄
-----------------------------	----------	-------

英語講座

臨床実習（PT）（2）.....	都養育院附属病院	荻島 秀男
------------------	----------	-------

From abroad

カナダの理学療法.....	エドモントン総合病院	荻原 新八郎
---------------	------------	--------

座談会

CP 児療育における Bobath テクニックの実践.....	都養育院附属病院	松村 秩・他
---------------------------------	----------	--------

編集後記

この号の特集「リウマチのリハビリテーション」は、1972年10月に岡山で開かれた日本理学療法士研修会での講演を元に組みました。PTにとって関心の深いと思われる「手術と理学療法」の関係については「整形外科よりみた関節リウマチ」と「慢性関節リウマチの下肢術後の理学療法」を通読することにより、現時点でのありようが岡山大学での経験を通して理解できるでしょう。またリウマチの最大の問題であり、私共を悩ます「痛み」の問題については、薬物の面からと心理的側面から触れられています。リウマチのリハビリテーション技術については今後ますますPT、OT共に症例を重ねきめ細かく検討していく必要があります。勿論、内科的、手術的療法の進歩に遅れることなく、共に手を携えながら

ですが、「とびら」の「戸を開けて外へ出よう」は最近PT、OT界のあちこちで囁やかれている「地域活動の必要性」の点から、生き生きとしたタイムリーな発言だと思いました。地域に出かけた場合、PT、OTとしては何が出来るか―専門職としては、厳密な技術検討がこれからの重大な課題となりましょう。

「今日の精神科作業療法」シリーズも、半分以上掲載を終った訳ですが、私共の身障の方と比較すると、治療の評価導入など、はるかに複雑でまだ確立していない部分の多いように思われます精神科OTにとって、このシリーズは役立つ所が大きいのではないのでしょうか。今回の論文も良くまとめられているようです。

（寺山久美子）

編集顧問

天児民和
九州労災病院長

五味重春
府中リハビリ学院長

砂原茂一
国立療養所東京病院長

津山直一
東京大学教授・整形外科
（五十音順、以下同じ）

編集委員

上田敏
東大リハビリ部

荻島秀男
都養育院リハビリ部

佐藤馨
神奈川県更生指導所

寺山久美子
都心障センター

野本卓
東医歯大理療室

鈴木明子
府中リハビリ学院

福屋靖子
東大リハビリ部

松村秩
国立リハビリ学院

編集同人

明石謙
赤津隆

内村静子
梅田晃昌

大井淑雄
大川嗣雄

大喜多潤
鎌倉矩子

紀伊克昌
谷岡淳

富岡詔子
奈良勲

福田修
藤本欽也

前田守
松本妙子

三島博信
横山厳

和才嘉昭
（担当 細田・岩元・松橋）